

施策評価シート（平成30年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	3-1	政策名	子育て環境の充実	政策の 目指す姿	子育てに喜びを感じ、安心して、健やかな成長を育んでいます	施策 主管課	こども課	施策主管 課長名	今井 岳彦
	施策No.	2	施策名	家庭の教育力向上	施策の 目指す姿	子どもが基本的な生活習慣を身につけています	関係課名			
	現状と課題	・保護者の就労形態の多様化、核家族化などにより、子どもの日常生活を把握する機会や経験豊かな祖父母などから学ぶ機会が減少しています。 ・就学前の年長児について、早寝・早起きやあいさつの習慣、時間を定めたテレビ視聴やゲーム使用等ができていない状況が見られます。								

◎ 前年度の評価の振り返り

(前年度評価時の今後の方向性) ・家族でニコニコチャレンジについて、取り組みが少ない「テレビ視聴・ゲーム利用のルールを守ろう」に、各家庭が選択しやすくなる方法を検討する。 (反映状況) ・平成30年11月に実施した家族でニコニコチャレンジを実施する際に、「テレビ視聴・ゲーム利用のルールを守ろう」を教育委員会お勧め項目として推奨したところ、取り組んだ家庭が増加した。(取り組んだ家庭の割合 H29:7.6%→H30:11.0%)

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1)家庭の教育力向上 ○家庭での基本的な生活習慣の動機づけ ・就学前教育振興会議を開催した。 主な議題:家庭の教育力向上のための取り組み、就学前教育推進事業の取組方策、等に関する協議 ・「家族でニコニコチャレンジ」を実施 ※「家族でニコニコチャレンジ」:幼児期に身につけたい基本的な生活習慣の項目を家族で決めて取り組むことで、定着を図るもの ○子育てに関する幅広い情報の提供 ・「ニコニコガイド(子育て情報パンフレット)」や子育てガイドブックの発行等による子育て情報の提供 ○保護者研修会等の学習機会の充実 ・子育て講演会の開催(演題:「子どもを台所に立たせよう」～「くらしの時間」を家庭に) ・子育て支援研修会を実施し、保護者や地域と子育てについて理解を深めた。 ○子育て相談機会の充実 ・各園における「ニコニコせんせい体験」の実施とその後の相談機会の確保 参加保護者										
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1
基本的な生活習慣が身につけている子どもの割合	子どもが心身ともに健康に育つための生活の基盤となる基本的な生活習慣の確立を示す指標	出典:花巻市(年長児を持つ保護者への基本的な生活習慣保護者アンケート)問:早寝、早起き、朝ご飯・挨拶ができる・ゲーム、テレビ視聴のルールを守るなどが身についていますか。	%	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
				実績値	77.2	77.1	75.9	78.1	79.2	

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	■成果指標「基本的な生活習慣が身につけている子どもの割合」…【達成度b】 目標値には届かないものの、基本的な生活習慣が身につけている子どもの割合は、増加してきている。「家族でニコニコチャレンジ」に取り組んでいる家庭も増加していることから、事業の効果が表れてきていると思われる。

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象 直結度	意図 直結	
1-1	家庭教育力向上事業 就学前教育振興会議の開催(年2回)	こども課	間接・ 少数	間接・ 補完	-
			C		
1-2	家庭教育力向上事業 「ニコニコガイド」の発行(年1回) 子育て講演会の開催(年1回) 子育て支援研修会の開催(各公立園1回) 保護者代表者交流会(年1回)	こども課	間接・ 少数	直結	-
			B		
1-3	家庭教育力向上事業 家族で基本的な生活習慣の確立に取り組む「家族でニコニコチャレンジ」取り組んだ家庭 95.5%	こども課	間接・ 少数	直結	B
			B		

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)
 ・なし

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)
 ・家庭でニコニコチャレンジについて、取り組む項目に偏りがある。

(新たに取り組むべき事業はないか)
 ・なし

6 施策の総合的な評価

(課題)
 ・基本的な生活習慣について、朝食摂取や歯磨きについては約9割の家庭で定着がみられる一方、テレビ視聴・ゲーム使用ルールについては家族でニコニコチャレンジの推進により意識している家庭が増加しているものの、家庭での定着は6割にとどまっている。

(今後の方向性)
 ・家族でニコニコチャレンジを実施する際に各保育施設に協力いただき、「テレビ視聴・ゲーム使用ルールを守ろう」に各家庭が取り組みやすい環境をつくる。